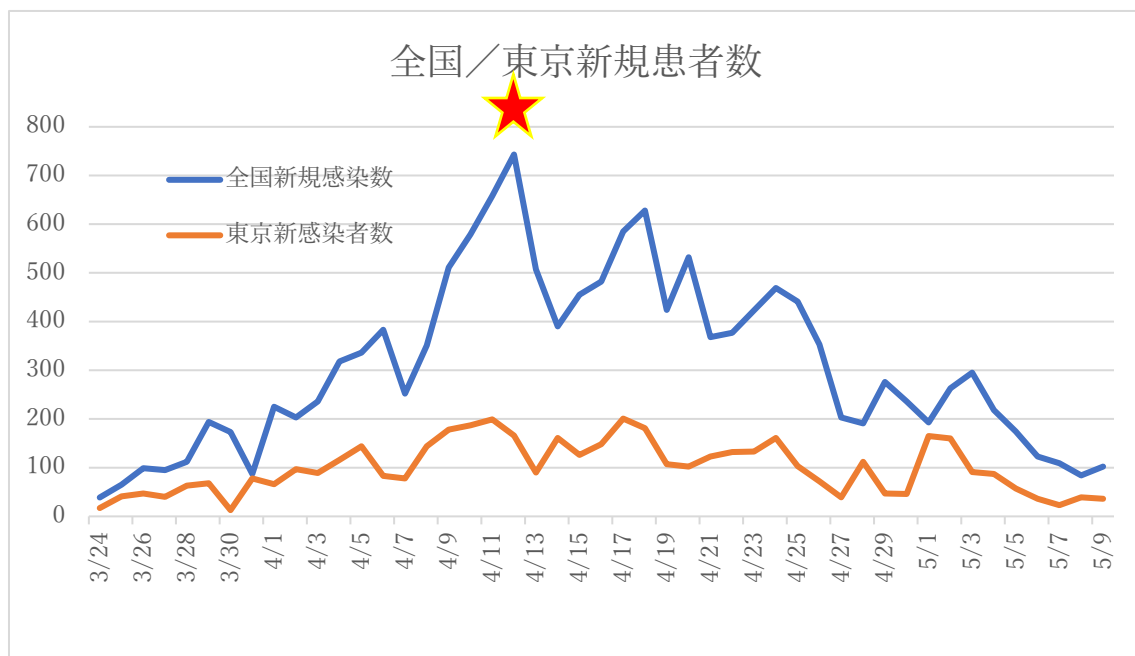


## コロナウイルス感染状況 (5/10)

先週までは毎日、今日の感染者数が報道されていました。若い方はご存じないかと思いますが、昭和の終わりに「陛下の血圧」が毎日報道されていたことを思い出します。

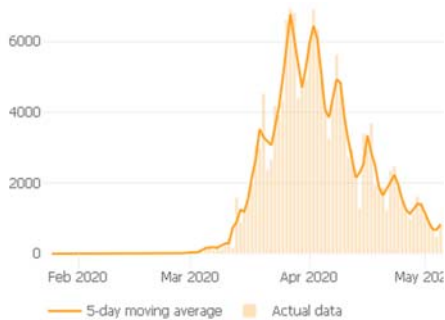
この数日はあまり騒がなくなってきました。マスコミさんには価値がなくなっているのでしょうか。しかし、行政は毎日、感染者数を発表していますのでこれをもとにグラフにしました。



4月中旬の一番大きな山（★）は3月の連休に感染した方に症状が出て、診断された頃かと思います。国民の皆さんの自粛協力により何とか落ち着いてきました。

「優等生」として賞賛されているドイツは新規感染者が1日当たり1000人を切ったとのことですので、酸素吸入以上の重症度の方が20%として200人はいるはずです。日本で酸素吸入が必要な人にPCR検査を受けさせないようなことはまず考えられないので、日本はドイツよりも優秀と思われます。なお、ドイツの人口は日本の約2/3の8000万人くらいなので、人口比にするとさらに差が開きます。

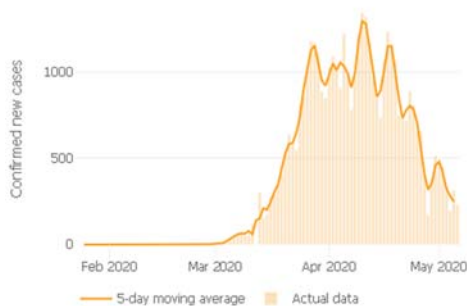
「患者数が増えるスピードに比べ減っていくスピードがゆっくりだ」との指摘があります。



左の3つのデータは、上がドイツ、中央がイタリア、下がオランダですが、どれも増えるスピードに比べて経ていくスピードがゆっくりであることが分かります。



コロナウイルスの潜伏期が流行を起こすほかの感染症と比べて長いこと、症状のない患者さんの割合が比較的高いことなどを考えると、ロックダウンなど経済を決定的に止める手段を使用していないのですから、当然の結果ではないでしょうか。



グラフは Johns Hopkins 大学の HP から転載しています。(2020 年 5/6 現在)

<https://coronavirus.jhu.edu/data/new-cases>

新規患者数で、私が気になっているのは東京の割合です。人口で見ると東京都の推計で約1395万人です(\*1)。日本の総人口は総務省の推計で12596万人(\*2)ですので東京都は全国約11%の人口を占めます。

\*1: <https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2020/01/31/06.html>

\*2: <https://www.stat.go.jp/data/jinsui/new.html>

週毎の全国と東京の1日当たり平均感染者数を表にしますと

週	全国新規 感染者数 (1日平均)	東京新規 感染者数 (1日平均)	東京／全国 (%)
4/2-4/8	297	107	36.1
4/9-4/15	549	158	28.8
4/16-4/22	485	142	29.3
4/23-4/29	337	95	28.3
4/30-5/6	215	92	42.7
5/7-5/9	98	33	33.2

おおむね30%以上の感染者が東京にいることになり、地方の方が東京からの人を恐れる気持ちがよくわかります。

©2020 Masaru Shinozaki

このサイトの情報・意見は東京大学または東京大学医科学研究所の公式見解ではありません。篠崎が個人的に収集・公表しているものです。また、このサイトの情報については必ずしも十分な検証は行っておりませんので、これに基づいた行動で不利益があった場合にも、一切の保証はありません。